|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 環境活動レポート   |  | | --- | |  | |  |  |  |  |  |  |
|  | | | | | | | |
|
|
| **＜2018年2月1日～2018年4月30日＞** | | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| |  | | --- | |  | |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  | **日信商工株式会社** |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | **2018年10月15日発行** | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

**目次**

1. **組織概要**
2. **対象範囲**
3. **環境方針**
4. **環境活動目標**
5. **環境活動計画**
6. **環境活動目標の実績**
7. **環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容**
8. **環境関連法規への違反、訴訟等の有無**
9. **代表者による全体の評価と見直し**
10. **組織概要**

**会　社　名**

　　　　日信商工株式会社（英文表記：NISCO CO.,LTD）

**所　在　地**

―本社・工場―

　　　　〒３３５‐００３２

　　　　埼玉県戸田市美女木東２‐２‐２

　　　　TEL：０４８‐４２１‐１２３４

　　　　FAX：０４８‐４２２‐０１７５

　　　　HP：<http://www.nissin-nisco.co.jp>

**設　立**

　　　　１９６７年１１月

**資　本　金**

　　　　１,０００万円

**役　員**

　　　　代表取締役社長　関口　良平

**環境管理責任者**

　　　　長　愛子　連絡先：048-421-1234

**業　種**

　　　　半導体製造装置機器部品及び関連装置機器の開発設計と製造販売

　　　　クリ－ンル－ム内設備機器の開発設計と製造販売

　　　　テフロン等フッ素樹脂、その他樹脂溶接・加工

　　　　タンク、槽、容器、器具類の開発設計と製造販売

　　　　耐薬品用ポンプ、耐薬品制御用バルブの開発設計と製造販売

　　　　ガススクラバ－開発設計と製造販売

**事　業　規　模**

　　　　売上高：７３５百万円

　　　従業員数：本社３４人　熊本事業所１２人

　　　　床面積：本社５２０㎡　熊本事業所１３１㎡

1. **対象範囲（組織図及び認証・登録範囲）**



**３．環境方針**

**『地球人としての取組み』**

**当社は、樹脂製品製造業の事業を通じて環境保全を配慮して行動することを経営の重要課題の一つとして捉え、次の行動指針を定めます。**

1. **二酸化炭素排出量の削減**
2. **化学物質使用量の削減及び適切な管理**
3. **廃棄物の削減および再資源化の推進**
4. **排水量の削減**
5. **グリーン購入の推進**
6. **提供する製品・サービスにおける環境配慮**
7. **事業活動に伴う環境関連法規の遵守**

**環境教育・訓練の実施により全社員に環境方針の周知徹底を行い、環境保全に関する知識を高め、社内だけでなく地域貢献における環境保全活動を推進します。環境方針は公に開示します。**

**制定日：2017年10月1日**

**日信商工株式会社**

**代表取締役　関口　良平**

**４．環境活動目標**

当社では2016年度の環境負荷の実績を基準として、2017年度～2019年度までの環境目標を次のように設定した。



**二酸化炭素排出係数：0.491**

**※平成27年度実績　公表：平成28年12月27日　東京電力エナジーパートナー㈱**

**５．環境活動計画**



**６．環境活動計画の実績**



**７．環境活動の取組み結果と評価及び次年度の取組み内容**

**１-1、電力使用量の削減**

　　　　　生産量増加により総量では増加しているが、売り上げ増加により原単位では大幅に達成している。

　　　　次年度の取り組み内容は、取り組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と同様の取り組み内容とする。

**1-2、ガソリン使用量の削減**

　　　　　４月の総量のみ未達成だったが、累計では達成している。取引先への直接納品が減少した事と、売り上げが前年度より増加している為、原単位の累計でも達成している。

　　　　　次年度の取り組み内容は、取り組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と同様の取り組み内容とする。

**２、廃棄物の削減（一般廃棄物）**

今期は実績把握のみとし、来期より目標設定をする。

　　　　　次年度の取組み内容は、取組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と

　　　　同様の取組み内容とする。

**３、廃棄物の削減（産業廃棄物）**

　　　　　産業廃棄物に関しては現状削減する方法がない為、実績管理のみとしている。

　　　　　次年度も実績管理のみとする。

**４、水使用量の削減**

　　　　　基準年よりも人員が増加したことで日常排水が増えた事と、昨年8月から大型水槽を設置した為に目標未達成であった。

　　　　　次年度の取り組み内容は、取り組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と同様の取り組み内容とする。

**５、グリーン購入の推進**

　　　　　　新棟引っ越しに伴い、グリーン商品対象外のものの購入が増えた為未達成であった。

　　　　　　次年度の取り組み内容は、取り組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と同様の取り組み内容とする。

**６、製品サービスの環境配慮**

　　　　　原単位で目標達成することができた。

　　　次年度の取り組み内容は、取り組みを始めたばかりなので、次年度も今年度と同様の取り組み内容とする。

**７、化学物質の削減**

　　　　　化学物質の使用は、在庫分のラッカーシンナーがなくなり次第アセトンへ切り替える。

**８．環境関連法規への違反、訴訟などの有無**



　環境法規等の逸脱はなかった。

　また過去５年にわたって、違反や告訴も１件も発生していない。

**９．代表者による全体の評価と見直し**

**[環境方針]**

環境方針は2017年度版に変更が必要。本活動が継続的に行われる為にも、目標設定～達成状況に至る関連事項を常にウォッチし、年度毎の見直しは無論、定期的な活動報告会を開催し、現状把握に全社で対応すること。

エコアクション21関連の社内掲示すること。

**[目標・活動計画]**

　　企業規模拡大に付き、設備増設による目標設定、活動計画の見直しをすること。

**[環境経営システムの各要素]**

　　現状に留まらず、些細な事柄でも変化を起こす企業風土の醸成。

　　全社で環境意識向上を掲げ、企業経営における重要課題として捉え、変化を起こすこと。